

風水害から守れ みんなの郷土

津消防タイムズ

第 6 号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療案内
☎256-1199



水防旗



陸上自衛隊第33普通科連隊員(杭打ち積土のう工法)

曇り空の中、本番さながらの訓練にのぞむ参加者

本格的な出水期に備え 津市水防訓練を実施

東海地方の梅雨入りを間近に控えて、集中豪雨や台風などの出水期を前に、洪水や高潮などの水害に備えるため、久居元町の雲出川左岸河川敷で、新津市として初めて、水防訓練が行われました。

台風の接近に伴い、三重県中部の山間部を中心に集中豪雨となり、市内の各河川の水位が警戒水位に達し、堤防に越水や漏水などが生じたため、下流域の世帯に浸水の被害が予想されるという想定で訓練が実施されました。

訓練には、消防職員や消防団員の他、市幹部職員、

自主防災会、付近地域住民、陸上自衛隊第二十三普通科連隊など、約七百二十人が訓練に参加しました。

今回の訓練は、合併後、初めてということもあり、市の対策本部員四名が出動して、仮設アンテナを設置、各総合支所と防災行政無線を使用しての指揮伝達や情報収集訓練を実施しました。

これを皮切りに、水防工法構築訓練が行われ、付近住民や自主防災会による積土のう工法のほか、月の輪、釜段、せき板、杭打ち積土のう工法など、様々な工法に参加者は汗を流していました。

訓練終了後、松田直久市長から、「合併後、初の訓練であり、関係団体が常に連携することが重要です。本日の本番さながらの訓練を今後活かして、地域のみなさんと緊密に連携を図り、安全・安心の街づくりを目指していきなす」と評価がありました。



松田市長、中川議長などの検閲風景

安全・安心の街づくりを目指していきなす」と評価がありました。